

みずほCustomer Desk Report 2018/05/07号(As of 2018/05/04)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	-
TKY 9:00AM	109.12	1.1990	130.81	1.3573	0.7529
SYD-NY High	109.27	1.1995	130.92	1.3585	0.7560
SYD-NY Low	108.65	1.1911	129.90	1.3487	0.7492
NY 5:00 PM	109.08	1.1962	130.48	1.3526	0.7542
NY DOW	24,262.51	332.36	日本2年債	-	-
NASDAQ	7,209.62	121.47	日本10年債	-	-
S&P	2,663.42	33.69	米国2年債	2.5030	2.48bp
日経平均	-	-	米国5年債	2.7863	0.51bp
TOPIX	-	-	米国10年債	2.9506	0.38bp
シゴ日経先物	22,480	10.00	独10年債	0.5420	1.10bp
ロンドンFT	7,567.14	64.45	英10年債	1.3985	0.90bp
DAX	12,819.60	129.45	豪10年債	2.7855	▲1.40bp
ハンセン指数	29,926.50	▲386.87	USDJPY 1M Vol	6.65	▲0.25%
上海総合	3,091.03	▲9.83	USDJPY 3M Vol	7.42	▲0.08%
NY金	1,314.70	2.00	USDJPY 6M Vol	7.85	▲0.08%
WTI	69.72	1.29	USDJPY 1M 25RR	-0.75	Yen Call Over
CRB指数	203.25	1.15	EURJPY 3M Vol	7.63	0.03%
ドルインデックス	92.57	0.15	EURJPY 6M Vol	8.03	▲0.03%

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
5月4日	16:55	独 サービス業PMI	4月 53.0	54.1
	17:00	欧 サービス業PMI	4月 54.7	55.0
	18:00	欧 小売売上高(前月比/前年比)	3月 0.1%/0.8%	0.5%/1.9%
	21:30	米 非農業部門雇用者数変化	4月 164k	193k
	21:30	米 失業率	4月 3.9%	4.0%
	21:30	米 平均時給(前月比/前年比)	4月 0.1%/2.6%	0.2%/2.7%

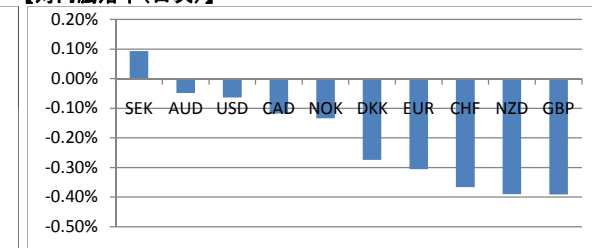
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
5月7日	08:50	日 日銀金融政策決定会合議事要旨	3月	
	15:00	独 製造業受注(前月比)	3月 0.5%	0.3%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	109.00-109.60	1.1930-1.2030	130.00-132.00

【マーケット・インプレッション】

昨日の海外市場でのドル/円は円高が進行し、一時109円割れの展開。注目された4月の米雇用統計では失業率が3%に低下したこと、米株式市場が上昇で反応。ドルも主要通貨に対し上昇する動きをみせるものの、非農業部門雇用者数が16万4000人増と市場予想よりも伸びが弱かったことなどから、対円については円高が進行し一時108円台をつける展開となった。昨日108円台までの円高をみせたドル円市場だが、米株式市場は大きく上昇、原油市場も70ドル/バレルをつける等、リスクセンチメントは比較的良好と言える中、本日のドル円は再び109円台での底堅い展開を予想したい。

アジア	アジア時間のドル円は109.12レベルでオープン。GWで東京市場は休場となる中、前日海外時間からの流れは変わらず徐々に下げ幅を拡大。109円を再び下抜け、一時108.94をタッチ。その後は海外時間に米4月雇用統計の発表を控える中、狭いレンジで推移し、結局109.13レベルで海外市場に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は上値の重たい展開となった。109.13レベルでオープン。2日に発表されたFOMCの声明文が予想されたほど強派でなかったこと、3-4日の米中通商協議では一部の問題で合意するも主要問題は先送りした形となり貿易摩擦懸念が継続したことなどを背景に109円丁度を挟んで上値の重たい展開となった。午後に発表される米4月雇用統計を待ちながら108.93レベルでニューヨークへ渡った。ユーロは小動きとなった。1.1974レベルでオープン。独4月サービス部門PMI改定値が53.0、ユーロ圏4月総合PMI改定値は55.1とそれぞれ約1年半ぶりの低水準となるも市場への影響は限定的。1.19台後半での取引に終始し1.1968レベルでニューヨークへ渡った。
ニューヨーク	米中通商協議は主要問題での合意無く終了し、FOMC以降上値を抑えられているドル円は、米雇用統計発表を控えクロス円の売りも入る中、108.93レベルでNYオープン。注目の米4月雇用統計は、失業率が3.9%まで低下したものの非農業部門雇用者数変化が16.4万人増と予想(19.3万人増)を下回り、平均時給(前月比)が0.1%の伸びにとどまったことから、引き続き賃金上昇圧力が見えないことからドル売りが持ち込まれ、108.65まで下落する。その後は一旦低下した米金利が下げ渋る展開にドル買いが優勢となり、株式市場が上昇する動きを受けた円売りも加わり、ドル円は109.27まで上昇する。午後は週末を控え、ポジション調整中心の推移が続き、109.08レベルでクロスした。一方、4月中旬から上値を切り下げているユーロドルは、ユーロ圏4月PMIが予想を下回り、ユーロ圏3月小売売上高も予想を下回ったことから、海外市場では軟調な動きが続き、1.1968レベルでNYオープン。朝方は米雇用統計結果を受けたドル買いに1.1995まで戻すものの、ドルが急速に買い戻される動きに直近の安値1.1938を下抜けし、1.1911まで下落する。しかしこのレベルでは相応に買い意欲もあり、軟調にスタートした株式市場が大幅に上昇し、ユーロ円も値を戻す中、1.1966まで反発。午後は週末を控え狭いレンジでの推移が続き、1.1962レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 濱・坂本